



絵：山崎 勲

## 特集 知的障害者こそもの申す

10月になり、自立支援法の全体が見え始めた。障害を持つ人たちや家族にとつては「負担金も含めて、自分たちの生活はどうなるのだろう」と不安だろうし、事業者にとつては「収入が大きく下がる中でこれまでのサービスが維持できるのだろうか」の不安がある。

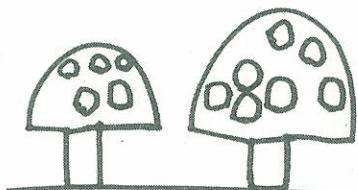
この間の私たちの訴えが少しは功を奏して激変が緩和された部分もある。しかし、知的障害を持つ人たちが主に利用している施策については、障害程度区分によつて利用できるサービスが決められ、事業者には効率と合理化が要求されるシステムだ。

このシステムは、第三者にとつては当然のように思えるかもしれない。しかし、「何らかの理由により外出できなくなりっている人」が自信を取り戻して経験を重ね、その人らしくらしを送れるようになるには、その日が来る事を信じて待つ時間と適切な支援が必要だ。それを、自立支援法は無駄だとみなしたのだ。一見当然と思われるシステムが、より弱い立場の人をはじき飛ばすのだ。

この間、できる限りの事をした。実情も訴えた。デモもした。そして、よりよい制度にするための闘いは、これからも続くだろう。しかし、私にとつては、失うものの大き

さに振り回された感がある。失うものに着目すると不安は広がる。そして、先が見えなくなる。もう、失うものは見えた。何を大切にするのかを決め、本当に大事な事を大切にし、必要な事を主張し続ける位置に早く立つ時期に来ていると思う。そして、それは、これまでやつてきた事である。

最後に、8月の末に2泊3日のパンジー旅行に行つてきた。昨年はバスの座席に座れず、移動中、立ちっぱなしだった人が座り、眠れなかつた人が熟睡するのを見ると、安心できる仲間とのたくさん経験が、一人一人の自信につながるのだとの思いを強くする。帰りのバスでは、「楽しかったな。。。」と話している人もいた。月並みかもしれないが、私は、このような場面に、とても心がなごむ。そして、こんな経験を、もっとたくさんして欲しいと思う。みなさん、心が和む経験をたくさんしていきますか？



(林)

知的障害の仲間が死んだとき、誰が棺桶を担つぐのか。この問い合わせに答えることが地域で暮らすことの究極の意味だと思います。一人っ子で暮らしている障害の仲間もおおぜいいます。父さん母さんを見送った後、彼・彼女を誰が見送ってくれるのだろうか。もちろん、グループホーム（G H）で暮らしている仲間であり、日中の活動を共にしている仲間です。

ところが、障害者自立支援法はG Hやケアホームを「どや」にしてしまいました。僕ら事業者は利用者から日々稼ぐどやの主です。ゆっくり養生してきい、と長期入院や長旅は歓迎できません。

いう美しい言葉を使いながら、

海外旅行はとんでもないことを。G Hが障害の仲間たちの家でなくなり、心の寄辺がこの法律によつて奪われてしましました。近い将来、G Hは血縁を伴わない共同体のあり方として、障害のある・なしに関係のない暮らし方・生き方になると思っています。シングルで暮らしている高齢者が励まし合つて生きるあり方がG H的な意味であつて、ウンコの介護にあるのではありません。障害者自立支援法には、障害のある人たちが生きる思想が欠けています。

かえる会で、「横浜で集会がある」と聞きました。行つてみようかなと思いました。近いところやつたらスピードが遅くとも行けるけど、横浜は遠いからスピーディー

の懐に入れて生存権を盗んでいます。生活保護費に満たない年金の人たちに対しても、仕事をして得た工賃も収入になつてしまふ応益負担を導入しました。所得保障制度の確立が前提だとアドボケイトを自認していた多くの人たちが、この法律の成立に期待し、協力して

きました。が、誰一人、所得保障ができなくてごめんなさい、と障害者に謝つていません。

このような情況に對して、黙つていいのでしょうか。ストップ・ザ「障害者自立支援法」。8月4日、800人を超える横浜の知的障害の仲間たちが立ち上がり、デモ行進をしました。9月30日にはストップ・ザ「介護保険制度統合」を全国に呼びかけた集会を開きました。この法律に対する徹底した抗暴が必要です。持続する意思と行動が求められています。

僕は、8月4日に横浜の集会に行つきました。行くときも帰るときも500人です。500系のぞみが一番好きです。

僕は、8月4日に横浜の集会に行つきました。みんなで食べ物を食べたの

**誰が桶を担ぐのか**  
神奈川・社会福祉法人同愛会CEO兼理事長  
**高山和彦**



この法律は障害者の懷に入れて生存権を盗んでいます。生活保護費に満たない年金の人たちに対して、仕事をして得た工賃も収入になつてしまふ応益負担を導入しました。所得保障制度の確立が前提だとアドボケイトを自認していた多くの人たちが、この法律の成立に期待し、協力して

こんには。河野明裕です。僕は東大阪市、東鴻池の府営住宅の4棟803号室グループホーム「てくてく」に住んでいます。仕事の場所はグループホームから見える、近くのパンジーに通っています。僕は新幹線が好きです。新大阪から一人で新幹線に乗つて、岡山、広島、京都にも行きました。新幹線は速いから好きです。新幹線は速いから好きです。新幹線は速いから好きです。

河野明裕

この法律は障害者の懷に入れて生存権を盗んでいます。生活保護費に満たない年金の人たちに対して、仕事をして得た工賃も収入になつてしまふ応益負担を導入しました。所得保障制度の確立が前提だとアドボケイトを自認していた多くの人たちが、この法律の成立に期待し、協力して

この法律は障害者の懷に入れて生存権を盗んでいます。生活保護費に満たない年金の人たちに対して、仕事をして得た工賃も収入になつてしまふ応益負担を導入しました。所得保障制度の確立が前提だとアドボケイトを自認していた多くの人たちが、この法律の成立に期待し、協力して



この法律は障害者の懷に入れて生存権を盗んでいます。生活保護費に満たない年金の人たちに対して、仕事をして得た工賃も収入になつてしまふ応益負担を導入しました。所得保障制度の確立が前提だとアドボケイトを自認していた多くの人たちが、この法律の成立に期待し、協力して

集会が始まる前にパンジーの人達でステージへ上がりアピールをしました。生田さんは、「このままでは生活していくしかない。大阪で

神障害の人も合わせて1200人が集まりました。

私たちは「同愛会」の人たちと一緒にデモをしました。同愛会では、グループホームで300名を超える人がくらしているそうです。その人数の多さに驚きました。

横浜の知的障害者関係の団体が実行委員でした。知的障害者関係で800人、精神障害の人も合わせて1200人が集まりました。

私は「ストップ・ザ障害者自立支援法」横浜フォーラムに参加してきました。今回の集会は、かれた「ストップ・ザ障害者自立支援法」に参加してきました。横浜の知的障害者関係の団体が実行委員でした。知的障害者関係で800人、精神障害の人も合わせて1200人が集まりました。

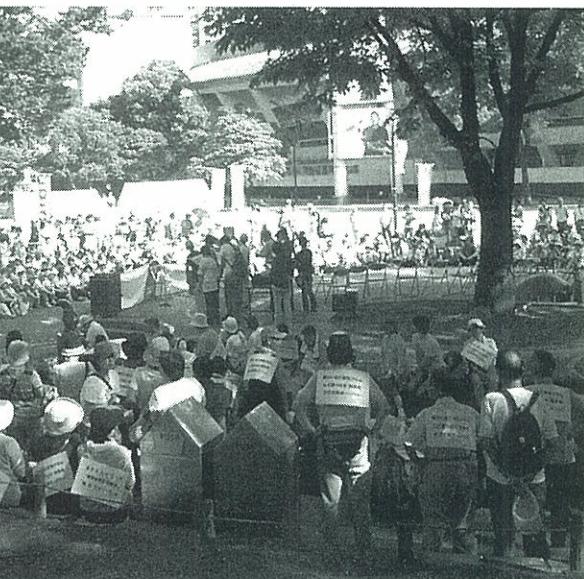
8月4日（金）に横浜で開かれた「ストップ・ザ障害者自立支援法」に参加してきました。今回の集会は、

当事者同士が集まり主張することで、大きな力となり発信していく強さを感じました。

今回の横浜の集会では、



知的障害者関係の団体が中心になつていていたことに意味があるのだと思いました。発言できる人たちだけが集会に参加するのではなく、目の前の問題に関わる全ての当事者が、体を張り真剣に争って主張していくことで、世間一般の人にも知つてもらうことができ、名前だけの「自立支援法」の厳しさを共有できるのではないかと思いました。（上中）



僕は、今まで大阪の他に東京の自立支援法の集会に行つたことがあります。東京が1回目で、横浜が2回目です。東京の集会も横浜と似たようなものでした。みんな怒っていました。自立支援法にぼろくそ怒っているんやなーと思いました。僕は、もっとお金のことをちゃんとと考えてもらいたいです。

お金があつたほうが、不幸せじやなくて、幸せやと思いません。みんな困っていることわかつてほしいです。入所施設をなくせと言う

こともあります。僕は入所

成です。

みんな新幹線に乗るときはうれしそうな顔をしています。新幹線の中では、みんなは話しています。僕は風景を見てます。人はそれぞれ好みがあるんぢやうかなと思います。また、みんなで新幹線で違うところに行きたいです。同じところじゃ飽きるから九州とか違うところが良いです。旅行でも集会でも良いです。

もなかまと一緒に闘っています。横浜のみんながどう考へているか知りたいと思つて来ました」と発言しました。

横浜の人たちも、知的障害、精神障害をもつ人たち、親の人たちから、次々に声を上げ、自立支援法反対を訴えました。

当事者は「自由ですよ」「どつか遊びに行つてもかまへん」と言いました。入所施設は時間が絶対決まっていてもよかったです。集会もデモ行進も暑かつたけど、ジュースをぎょうさんもらえたので、ラッキーでした。

集会の後は、デモ行進をしました。いつもは歩いてはあかん車道を歩いたけど、許可があるから歩いてもよかったです。集会もデモ行進も暑かつたけど、ジュースをぎょうさんもらえたので、ラッキーでした。

僕は、今まで大阪の他に東京の自立支援法の集会に行つたことがあります。東京が1回目で、横浜が2回目です。東京の集会も横浜と似たようなものでした。みんな怒っていました。自立支援法にぼろくそ怒っているんやなーと思いました。僕は、もっとお金のことをちゃんとと考えてもらいたいです。

お金があつたほうが、不幸せじやなくて、幸せやと思いません。みんな困っていることをわかつてほしいです。入所施設をなくせと言つてているのは僕も思つてているし、賛成です。

みんな新幹線に乗るときはうれしそうな顔をしています。新幹線の中では、みんなは話しています。僕は風景を見てます。人はそれぞれ好みがあるんぢやうかなと思います。また、みんなで新幹線で違うところに行きたいです。同じところじゃ飽きるから九州とか違うところが良いです。旅行でも集会でも良いです。

# 支援法に立ち向かう

上中智子





# 2006年度 パンジー旅行

8月30日(水)～9月1日(金)の2泊3日で  
パンジー旅行に行ってきました。

参加者は、全部で111名。

行き先は「高山・上高地コース」「北陸コース」  
「小豆島・四国コース」の3コース。

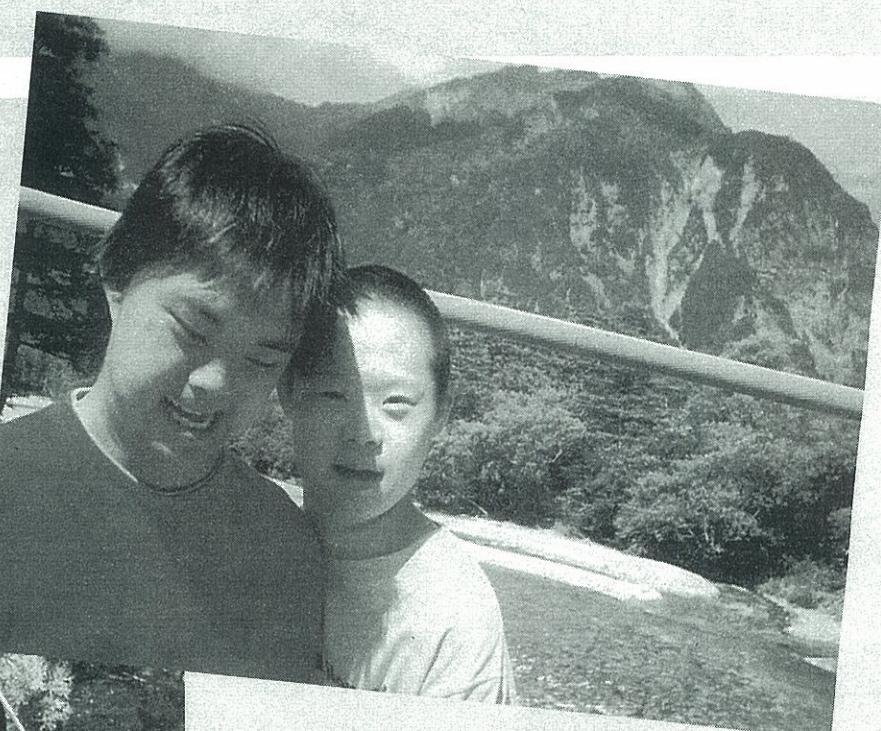
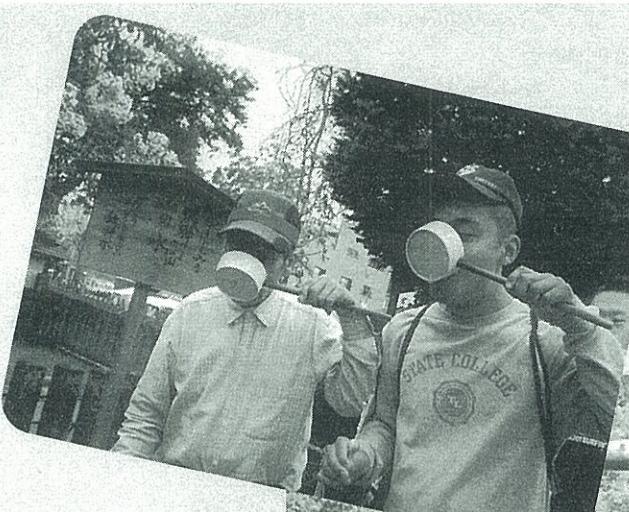
バスでのんびりと旅行を楽しんできました。



すばり！『グルメ旅』。まずは敦賀で「甘エビ  
食べ放題」。大きなザルに山盛りの甘エビを次  
から次へとむしっては食べて大満足。

「羽二重餅の古里」では、いろいろな味の羽二  
重餅を試食しまくり。芦原温泉で、恒例の大宴  
会。2日目は金沢市の甘味処「ひがし茶屋街」。  
甘いものを食べて大満足。

3日目、「ゆのくにの森」では、オルゴールを作つ  
たり、染め物をしたり、紙すきをしました。  
最後の昼食は、焼き肉。最後まで食べまくり！

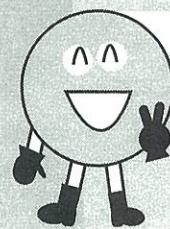




JOURNEY2006

1日目は、バスとフェリーで、小豆島へ。  
小豆島は、オリーブと「しょうゆ」「つくだに」の看板がたくさん。「つくだにソフトクリーム」も！ ホテルでは宴会をして、最後は海辺で花火。  
2日目は、パンジーで売っているマルキン醤油の記念館を見学。「パンジーで売っているそうめんも醤油も、この島で作っているんだなあ」とくしまいやけいやまおくつそして、徳島の祖谷渓へ。山奥にたどり着いたホテルは、とてもきれいだった。

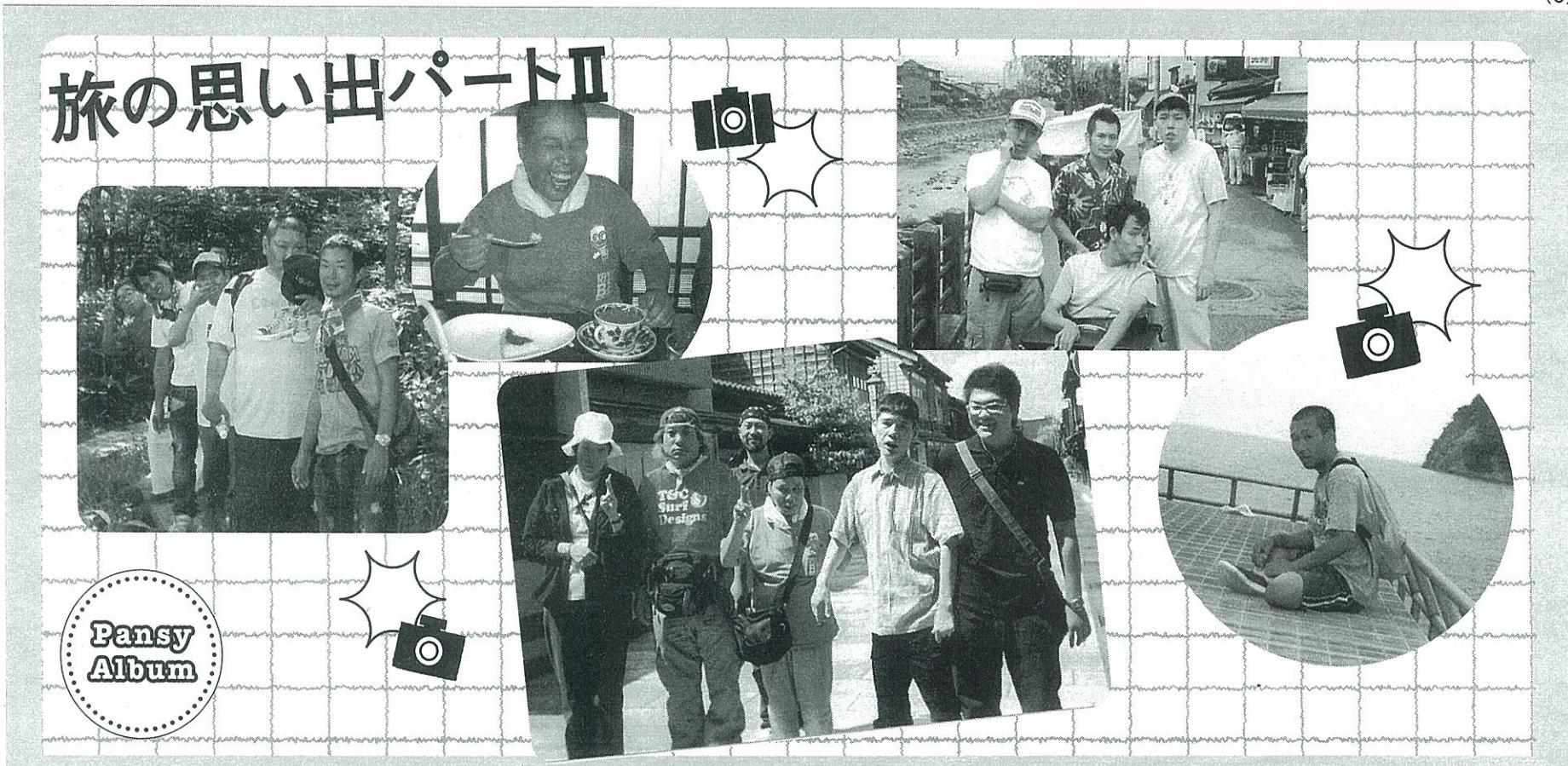
3日目は、祖谷のかずら橋へ行く。すばらしい景色にスリル満点のつり橋。走り抜けようとしてつまずく人あり、あまりの迫力に涙しながら渡る人あり・・・。



東尋坊

けし  
はし  
はし  
ぬまんてん  
ばし  
はし  
ぬはくりょく  
なみだ  
わた

ひと



## 「加齡」の問題 II

中 新 井 澪 子  
スパンジーパーバイザー

今夏、北海道浦河にある「べてるの家」を見学した。小規模授産施設 2ヶ所、グループホーム 3ヶ所、共同住宅 3ヶ所、福祉ショッピング（有限会社）などで構成され、約 150 人が多種多様な事業に関係している。精神障害を持った人達が中心で、「弱さを絆にして」ありのままに時にはしたたかに、過疎の町で賑やかに生活されている様子が感じられた。年間 2 千人を超える見学者には、メンバーによる専門のチームが対応している。私たちもまず朝の全体ミーティングに参加した後、「迎能プロダクション」チームによる歌と踊りの歓迎をうけた。次に「オリエンテーション研修」チームによる多様な施設・事業の詳細な説明があり、「うまいもん」チームの中に入つて「おつまみ昆布」の袋詰めを行つた。何だかパンジーに居るみたいと思つたが、壁にはべてるの理念が書かれている。気に入ったのは「そのまんまがいいみたい」「手を動かすより口を動かせ」気になつたのが「病気に助けら

れる」「自分でつけよう自分の病気」。精神障害はやはり「病気」なのか。「障害」との違いは?など今も考えている。でも、機関誌を読むとメンバーは年と共に体重を重ねて、精神病より成り病との付き合いの方が重要になつてきています。そこで支援スタッフは、血圧の測定、血糖値の状況、内科外来の受診、服薬の確認食生活の工夫に奮闘中のこと。日常生活における支援は、障害とは関係なく同じようである。

さて、「パンジー」に戻つて、前回の続き「加齢」を考える。

まずやつてくるのが、筋力や柔軟性の低下で、運動機能が知らぬ間に衰えてくる。面倒がらずに出来るだけ身体を動かすこと、また腰痛や転倒予防の体操等は、スタッフも一緒に行いたいが、決して無理をしないことが大切である。時々は意識してゆっくりと深呼吸をする。また、顔の筋肉も動かそう。目や口の周囲、耳やあごの下など指で押すだけでもよいが、にらめっこ

など百面相をしあうのも楽しいと思う。決してシワやタルミの防止ではない。表情を豊かに保ち、視力、視野、涙の出入り、咀嚼や唾液分泌などの機能を維持するためには必要である。

面接を続けているSさんの不調の一つが目の奥の痛みである。彼の筋力低下は加齢によるものではないのだが、向いに座っている私を見るときすら瞼を上げようとする力を入れている。彼の仕事場（パン屋）では、立つて作業をしている人が多いので、話をすると時など車イスの彼は常に見上げなければならぬ状況を考えると、眼の周囲の筋肉疲労かもしれない。Sさんの訴えに、私は暖かいおしほりで眼の上のホットパックを勧めると、本人曰く「これはよく効く」と。私もそうだが、瞼がゆるんでくると、たとえばテレビなども少し下向き加減で見る方が楽なのである。

の世の中暗く見える白内障や異物感や痛みを伴うドライアイ、他にも加齢により異常ができる眼の病気も多い。視覚の不調はやる気や根気を減少させる時には失明に至る病気もあるので、気をつけたい。

聴覚については難聴への対応があるが、加齢による場合、補聴器はそれほど有効ではないらしい。私が検査を受けた時、聴きとりが悪くなつてると、音は聞こえても、聞き間違えを防ぐことにはならないと言われた。人間関係が悪くなる原因の中には、聞き間違えによる誤解も相当あるので、配慮したい。大事な話し合いや情報伝達の際には、やはり書いたものを用意した方がよい。

くる。当事者からの訴えは少ないのだが、度数の異なる老眼鏡を揃えておいてはどうか細かい作業の時に試しにかけてのうつて本へて楽な方を選

最も簡潔に定義してみると  
次のように見ることができ  
ると思う。すなわち「身体的、  
精神的な能力上、または形  
態上もしくは個性上の違い  
を理由に、障害を持つ人た  
ちが、他の市民と平等に有  
しているはずの権利を侵害、  
もしくは制限し、障害者に様々  
な種類の屈辱を与えること」

人間の自由や権利を制限したり侵害することは、許されないのである。もちろんそれぞれの人々に対する「好き嫌い」や評価は否定できないが、それを理由に、集団から排除することは認められないのも当然である。それは「ノーマライゼーション」や「インクルージョン」

創思苑理事  
楠 敏雄

考える2

# 再び 「差別語」と 政治

となる。もちろん、この点でもまだ十分とは言えないが、もつと簡単な言い方をすれば「一人一人の能力的な違いを認めず、不等に扱うこと」ということもできる。

本来はこの後に「障害とは何か」に関する言及が必要なのだが、今回は中止してむしろ基本的な問題として「差別」と「区別」の相違についてもう少し、突っ込んで考えてみたい。

の理念に反し、「ともに生きる社会づくり」につながらないからである。ようするに「区別」と「差別」の最も重要な違いは、個々人に対する不利益や排除を伴うか否かにある、ということにある。(つづく)

知的障害をもつ当事者からの発信!

# パンジーのメンバーが 講演します。

パンジーでは、障害者運動や自立生活などに取り組んでいる障害当事者の講演活動を積極的に行ってています。知的障害を持つ当事者の思いや、生の声を聞ける貴重な機会として、学校での総合学習や職場での人権学習の講座、ヘルパー研修などにお役立て下さい！内容、参加人数によって、ご希望に応じます。まずはお気軽にご相談下さい。

### ● 主な講演内容

当事者運動

生い立ち、経験談  
障害を持っていても地域の学校に通いたかった。障害を持っている人とも仲良くしてほしい。／勉強が出来ないからって、古い校舎にある特殊学級へ行けと言われた。悔しかった。／工場の社長に「アホには金やらん」と言われ、土日もひとり働いたのに給料は安かった。大いに差別や。

## 自立生活について

自立生活は、自由で気楽で良い。出来ないところは、介護者を利用したらいい。／親と一緒に甘えてた。自立すると、自分のことを自分で考えなあかん。／障害が軽くても重くても、関係なく自立は出来る！

地域で生きる

入所施設にいた頃は、時間が全部決まっていた。小遣いは1日100円／グループホームでは自分の自由な時間がある。そこが一番大きな違いだ。／スウェーデンの入所施設は解体されて、無かった。日本にも入所施設はいらぬ

支援者・ヘルパーへ

職員はえらそうにするな！当事者の話をもつと聞け！職員だけで決めるな！／当事者の力を大きくしたい。そのために助けて欲しい。／ヘルパーは心優しい人が良い。お金をもらっている仕事だからしっかりやってほしい。

#### その他の講演内容

## パンジーの活動紹介。 自立支援法についてな ど。応相談。

## ● 形式

講義形式だけではなく、  
以下のような形式も出  
来る。

- ◆当事者がヘルパー役、ヘルパーが当事者役になるロールプレイなどを取り入れた参加型の研修
  - ◆当事者対象のワークショップ自信がどんどんわいてくる「元気が出る話」

ビデオや  
スライドも  
あります

### ●今までの講演会

曾爾小学校／若江中学校  
／盾津東中学校／大阪教育大学／花園大学／大阪市立大学大阪府総合福祉協会ガイドヘルパー研修／大阪府ケアマネ養成講座／生駒市人権教育講座 大阪市都市環境局／朝日新聞厚生文化事業団／大阪弁護士会／福岡県久留米市同和教育推進協議会／北陸地区知的障害者福祉協会 他多数（年間約20件）

### ●今までの感想

ぼくははっきり言ってあまり聞きたくなかった。でも熱中して聞いていた（小学生）／自分の意志を持ち、嫌なことも、したいこともある。僕たちと同じだとわかった（大学生）／毎週こんな授業があつたらしい（大学生）／障害者の気持ちを考えて行動しなくてはいけないとわかった（ヘルパー）／積極的に前向きに生きている障害者の人々に感動した（市民講座受講者）

時間／1時間～2時間ほど  
講演料／応相談  
問い合わせ／〒577-0023  
東大阪市荒本204  
はっしんきち サ  
TEL／06-6789-6637  
FAX／06-6789-6649  
担当／肌勢（当事者担当）  
山田（支援者）

## エクセレントチョコ ギフトセット

オーロラ、ストロベリー、アップル、ココアミルクなど人気の商品を詰め合わせ。大切な人への贈り物にぴったりの商品です。

4箱セット 2000円  
6箱セット 3000円



## 冬ギフト



※お電話・FAXでお申し込み下さい。  
宅急便でお送りする場合の送料はお客様負担になりますのでご了承下さい。

## ウフレ

白いウェハースに3種類のチョコをはさんでいます。くせになる食感！



.....800円

## パウンドケーキとクッキーの詰め合わせ



ミックスクッキー  
ごま・ココア・ピーナッツ・  
レーズンの4つの味。

パウンドケーキ  
プレーン・フルーツ・紅茶の  
3種類があります。

ころころクッキー  
たまごを使っていない、くる  
みたっぷりのクッキー

●3種類のセットから、お選びください。

- |                        |            |
|------------------------|------------|
| Aセット・プレーンパウンドと2種類のクッキー | .....1200円 |
| Bセット・フルーツパウンドと2種類のクッキー | .....1300円 |
| Cセット・紅茶パウンドと2種類のクッキー   | .....1300円 |

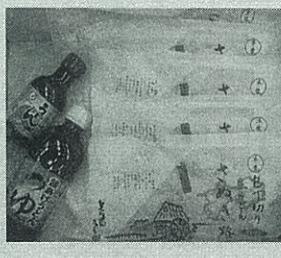
## うどん詰め合わせ



## 釜揚げセット 1,500円

さわやかな美味しさと食感を楽しむ本場讃岐うどん。

讃岐うどん 半生 (300g) 3袋  
釜揚げうどんつゆストレー (340ml) 1本



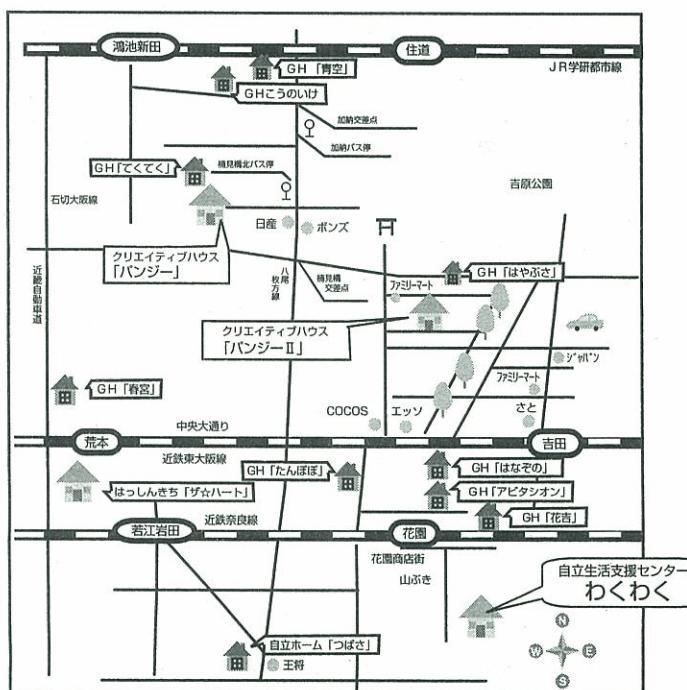
## まるごと讃岐うどんセット 2,500円

本場の味をまるごと楽しめる高級うどんセットです。

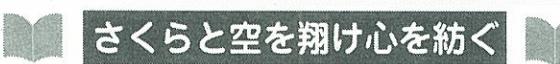
讃岐うどん 半生 (300g) 5袋  
釜揚げうどんつゆストレー (340ml) 1本  
生醤油うどんつゆストレー (150ml) 1本

## ●ご注文・お問い合わせ

クリエイティブハウスパンジー  
〒578-0973 東大阪市東鴻池町2-4-8  
Tel 072-963-8837 Fax 072-963-8825



BOOK



社会福祉法人 すばる福祉会理事長  
西 定春著 (千書房)

知的障害を持つ夫婦の間に生まれたさくらさん。彼女の成長を継続、多くの人と出会いを横糸として、西さんの活動が綴られている。「願いはひとつ。知的ハンディを持つ人たちがあたりまえに生きる事」と語る西さん。知的障害をもつ人たちの人生を支援することは、とりもなおさず自らの生き方を捉えなおすことであると鋭く社会のあり方を問う書として仕上がっている。(西尾一美)  
\*本の購入は、阪神間の主な書店で販売。  
すばる福祉会 (0798-53-0122) にて、3冊以上から送料無料。

ご家庭や会社などで書き損じの  
ハガキ、スタンプを押していない  
切手など眠っていますか?  
自立生活部門ではこれらを集めて  
活動資金にあてています。  
ご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございます  
(敬称を省略させていただきます)  
〈後援会費を振り込んで頂いた方〉  
芹田希和子／黒崎絆崖子／速水文子／河瀬時美／三好恵子  
〈寄付金・カンバを頂いた方〉  
サニー住研有限会社／橋本幸子／松本朱實／吉安宣子／  
津田年子  
〈書き損じはがき・未使用切手・未使用テレfonカードをお送りいただいた方〉  
山下育代／奥村美智子／宮田隆志

## お問い合わせ

- クリエイティブハウス「パンジー」  
東大阪市東鴻池町2丁目4-8  
Tel 072-963-8818 Fax 072-963-8825
- クリエイティブハウス「パンジーII」  
東大阪市中新開2-11-20  
Tel 072-960-3610 Fax 072-960-3613
- 自立生活支援センター「わくわく」  
東大阪市花園東町1丁目17-30  
Tel 072-968-1556 Fax 072-968-1557
- はっしんきち ザ☆ハート  
東大阪市荒本2049-4-101  
Tel 06-6789-6637 Fax 06-6789-6649
- ホームページ / <http://www.pansy-net.or.jp>

パンジーでは、  
後援会員を募集しています

賛助会員 1口 1ヶ月	500円
本会員 1口 1ヶ月	1,000円
特別会員 1口 1ヶ月	5,000円
郵便振替番号	00950-1-300551

クリエイティブハウス「パンジー」

みんなげんき No.6  
さいわい徹(◎)

## 大きなマクラ

